

当院外科では外科医2人体制での診療を行っている。

外来診療は週3回であり、乳腺外来も同時に行っている。

2020年度の年間手術症例は全身麻酔が15例、腰椎麻酔が8例、局所麻酔4例であり、前年度より全身麻酔14例減少し、腰椎麻酔11例減少しており、新型コロナウイルスによる影響を強く受けたと考えている。

内訳では悪性腫瘍手術が胃癌1例 大腸癌4例で合計5例であった。

ヘルニア根治術が8例と昨年より症例数が著しく減少した。

その他腹腔鏡下虫垂切除術が2例 腹腔鏡下胆嚢摘除術が5例で有り、腹腔鏡下手術は良性疾患、悪性疾患合わせ、8例であった。

緊急性の少ない手術の症例数が著しく減少した。

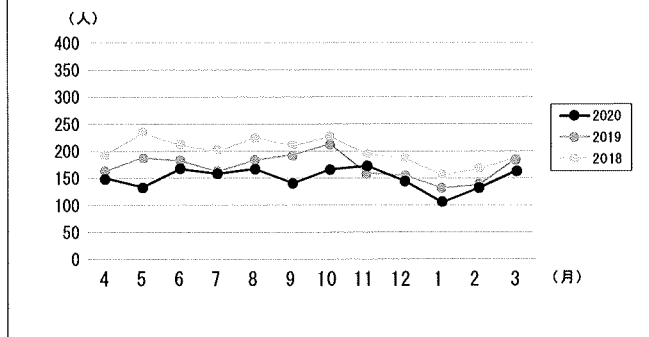
手術以外にも悪性疾患の化学療法を内服あるいはC Vポート挿入の上で点滴にて主に外来で行っている。一部症例では入院での化学療法も行っている。I Cポートは近年橈側皮静脈からの挿入も行っている。

訪問診療にも力を入れており、三角、大矢野地区での訪問診療を近隣の訪問看護ステーションと協力しながら、当院のかかりつけ以外にも他院からの紹介患者についても、行っている。

また、外科疾患に限らず、循環器内科、脳神経外科、整形外科の疾患について他院からのリハビリ目的の転院症例や、救急外来からの入院症例等について診療科を越えた入院治療に協力しており、脳神経内科や呼吸器内科などの熊本からの応援診療科と協力しながら、入院診療を行っている。

三角および大矢野地区については悪性疾患の在宅緩和療法の方を中心に少ない患者数となっているが、訪問診療に取り組んでいる。

外来患者数推移



入院延患者数推移

